

日本赤十字社和歌山医療センター 医療連携だより

秋号
No. 71



和歌山医療センター
和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL: 0120-965-582 (医療連携課)
(発行責任者) 管理局長 宮本 明典

FAX: 0120-937-510 (医療連携課)
e-mail: renkei@wakayama-med.jrc.or.jp

就任のご挨拶



第一救急科部長
浜崎 俊明

このたび、10月1日付で日本赤十字社和歌山医療センターに復帰し、第一救急科部長を拝命いたしました。

平成9年に広島大学を卒業し、八尾徳洲会総合病院や日本医科大学高度救命救急センターなどにおいて救急医療の研鑽を積み、愛晋会中江病院では内視鏡技術を身に付けさせていただきました。その後平成20年5月から大阪赤十字病院救急部(救命救急センター)に勤務し、平成23年4月当センターに赴任しました。

救急外来では、疾患の治療を行うだけでなく、患者さんの社会的状況を考慮し、様々な社会サービスにつなげていかなければなりません。昨今の高齢化の進展や独居者の増加など、社会的課題を多く抱える患者の受診数は増加しつつあります。救急外来を受診する患者さんの多くは、外来治療後に帰宅となります。そのため、来院直後から治療と同時進行で介護事業者や行政と連携し、帰宅後の対応の準備を行う必要があります。一方で、救急外来受診時には病状が進行して、もはや手のつけられない状態になっている患者さんも経験しました。そのような社会的課題を抱えた救急患者事例への対応を経験し、病院勤務医師の視点から保健福祉行政に携わりたいと考え、平成29年4月末をもって医療現場を離れました。

その後、救急医師として20年あまり活動してき

た経験を活かして、行政における医療制度や災害時対応の改善を図りたいと考え、大阪府堺市において医療施策の立案や健(検)診の重要性の市民啓発を行ってきました。また災害時医療救護活動マニュアルを作成し、災害初動時に行政が行うことを明文化しました。行政内部は巨大な戦艦のようなもので、何か事業を行う際には様々な部署との事前調整を行わなければ実施できず、またいったん開始した事業はなかなか中止にできません。事業によっては法律や条例による根拠や市議会における答弁や議決を経る必要があり、医療機関との組織の違いを感じました。

医療現場を離れ、行政に携わり2年半が経過し、今度は、行政で得たことを医療現場で体現したいと思うようになりました。そんな折に、当センターの救急専門医の数は十分ではなく、今後、現状の救急受け入れを維持するには人員的に厳しい環境であるということを目にし、このような私でも役に立てるなら、との思いで復帰を決断しました。

2年半ぶりの和歌山ですが、高齢化の進展や独居者の増加など、医療をめぐる社会的環境は変化しており、以前の考え方が通用しなくなっているおそれもあります。しかし、院内各科の先生方の協力をいただきながら、「断らない救急受け入れ」を実践し、行政で学んだことを活かしながら連携医療機関の先生方の信頼と評価を維持したいと思っています。ご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。



医療連携部門のご案内

当センターでは、医療連携部門を医療連携総合支援センター（前方支援）と患者総合医療センター（後方支援）に分け、それぞれ専門的に対応しております。お問い合わせ等がございましたら、下図をご参考にご連絡ください。

患者総合支援センター

患者総合支援センターは、**医療社会事業課、看護部PFM、病床管理調整室**により構成される組織横断的部門です。ベッドコントロール、入院前支援、退院支援、患者さん・ご家族が抱える様々な問題の解決に向けた支援を行っています。

業務内容

【ベッドコントロール】（看護師、事務）

- 病棟、病床の決定に関する業務。
- 入退院のベッドコントロールに関する業務。

【入院前支援】（看護師、管理栄養士）

- 患者サポートセンターにおける予定入院患者への支援。

【相談支援】（看護師、社会福祉士）

- 患者相談窓口における支援。
- せん妄・認知症ケアチームにおける支援。

【療養支援】（看護師、社会福祉士）

- 外来、入院を問わず、患者及び家族等に行う療養支援。
退院支援、他院入院支援、在宅療養支援、社会的問題（経済的問題や家族関係に関する問題、就労・就学に関する問題、虐待等）に対する支援。

〔お問い合わせ先〕

TEL：
073-421-8190
8192

FAX：
073-400-7383

医療連携総合支援センター（医療連携課）

医療連携総合医療センターは、地域医療機関の先生方と当センター医師とが緊密な医療連携を図るための窓口としての役割を担っています。

業務内容

- ◆ 予約センターでの予約業務
 - 診察予約、検査予約、セカンドオピニオン予約等
- ◆ 医療連携ネットワーク（登録医）関連業務
- ◆ 医療機関向け広報誌【医療連携だより等】の発行
- ◆ 返書管理業務
- ◆ 転院受け入れ調整業務
- ◆ 当センターの診療情報の提供
- ◆ 他医療機関の予約取得業務

〔予約センター〕

TEL：
0120-936-385

FAX：
0120-937-510

〔お問い合わせ先〕

TEL：
0120-965-582

令和元年度 「日本赤十字社和歌山医療センター医療連携ネットワークの集い」開催

標記集いを令和元年10月5日(土)ホテルグランヴィア和歌山にて開催いたしました。多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、医療連携ネットワーク会員の先生方及び当センター職員ら206名が出席しました。



今回は、金光尚樹心臓血管外科部長による「受けてよかったと思ってもらえる心臓血管治療を目指して」、根来慶春放射線治療科部長による「最近の放射線治療」、池上達義第二呼吸器内科部長による「重症喘息・COPDの最新治療」の講演を行いました。

その後、意見交換会を開催し、会員の先生方と職員が親睦を深めることができました。

年々、ご参加くださる方が増加しており大変うれしく思っております。会員の皆様におかれましては、毎年開催しておりますので、ぜひ来年もご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

令和元年度診療科別合同セミナー・講演会等一覧

当センターでは、地域の先生方のご意見を伺い、よりよい病診連携に繋げることを目的とし、意見交換会を行っております。今後とも開催時には、ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

令和元年7月～9月開催分

日時	診療科	会合・講演会名	参加人数 (合計)
7月4日	消化器内科	GI Conference	45名
7月11日	外科・消化管外科・肝胆膵外科	第4回消化器癌病診連携セミナー	39名
7月11日	腎臓内科 循環器内科	ファミリー病セミナー in 和歌山 ～日常診療における遺伝性疾患～	52名
7月18日	呼吸器内科・呼吸器外科	泉南地区・日赤合同臨床懇話会	23名
7月18日	整形外科	令和元年度第1回大腿骨地域バス合同カンファレンス	82名
7月20日	脳神経外科	令和元年度第1回脳卒中地域連携バス情報交換会	71名
8月1日	外科・消化管外科・肝胆膵外科	日本赤十字社和歌山医療センター 医療連携ネットワーク 消化器の会	34名
8月31日	循環器内科	心血管治療連携フォーラム2019 ～実地医家のための必要な知識・技術を学ぶ～	31名
9月5日	神経救急部・脳神経外科・脳神経内科	てんかん診療セミナー	63名
9月12日	漢方内科	第9回地域連携漢方講演会	62名
9月26日	消化器内科	第6回和歌山市医師会・日赤合同学術講演会	28名

就任のお知らせ

10月1日付

第一救急科部 **浜崎 俊明** (部長)
脳神経内科部 **中西 悦郎** (医師)
消化器内科部 **池田 結香** (専攻医)

上記の職員が新たに就任いたしました。
よろしくお願いいたします。

退職のお知らせ

7月31日付

循環器内科部 **本橋 恭代** (医師)

9月30日付

放射線治療科部 **岡野 一樹** (医師)
脳神経内科部 **梶 誠兒** (医師)
消化器内科部 **重里 徳子** (専攻医)
整形外科部 **池崎 龍仁** (専攻医)
第一救急科部 **山田 万里央** (専攻医)

上記の職員が退職いたしました。
大変お世話になりました。

紹介初診患者診察担当医師表

2019年11月1日現在

診療科名	月	火	水	木	金
循環器内科	部長 田村 崇 副部長 花澤 康司 —	副部長 豊福 守 — —	副部長 渡邊 大基 伊勢田 高寛 《末梢血管外来》 渡邊 大基	辰島 正二郎 — —	副部長 北田 雅彦 — —
消化器内科	部長 山下 幸孝 副部長 浦井 俊二 副部長 瀬田 剛史 松本 久和 中野 省吾 —	副部長 上野山 義人 副部長 赤松 拓司 副部長 中谷 泰樹 池ノ内真衣子 我妻 信和 —	副部長 瀬田 剛史 梅村 壮一郎 谷 泰弘 下山 雅之 森村 博樹 —	部長 山下 幸孝 副部長 浦井 俊二 副部長 中谷 泰樹 副部長 藤田 碧 寺下 友子 荻野 真也	副部長 上野山 義人 副部長 赤松 拓司 松本 久和 岡田 圭次郎 原田 官幸 —
糖尿病・内分泌内科	廣島 知直	部長 井上 元	部長 井上 元	廣島 知直	部長 井上 元
血液内科	副部長 島津 裕	部長 直川 匡晴	副部長 岡 智子	白神 大志	副部長 島津 弥生
外科	副部長 米永 吉邦	部長 宇山 志朗	副部長 一宮 正人	部長 宇山 志朗	部長 安近 健太郎
消化管外科	上野 剛平	副部長 細川 慎一	副部長 横山 智至	部長 山下 好人	副部長 伊東 大輔
肝胆膵外科	山田 真規	山口 賢二	宮本 匠	—	辰林 太一 野間 淳之
※ 乳腺外科	《交替制》	—	《交替制》	《石灰化外来》	《交替制》
小児外科	—	部長 中岡 達雄 —	部長 中岡 達雄 副部長 横山 智至	部長 中岡 達雄 —	— —
眼科	部長 荻野 顕	三木 敏耶	部長 荻野 顕	副部長 黒田 健一	吉武 達哉
耳鼻咽喉科	部長 三浦 誠	《交替制》	部長 三浦 誠	《交替制》	副部長 本多 啓吾
産婦人科	副部長 山村 省吾	副部長 豊福 彩(第1・3・5) 日野 麻世(第2・4)	伊藤 拓馬(第1・3・5) 中村 亮宏(第2・4)	副部長 坂田 晴美(第1・3・5) 横山 玲子(第2・4)	部長 吉田 隆昭
小児科	副部長 濱畑 啓悟 副部長 杉峰 啓恵 —	部長 吉田 晃 副部長 深尾 大輔 —	副部長 原 茂登 副部長 横山 宏司 —	副部長 濱畑 啓悟 副部長 平海 良美 古宮 圭	部長 吉田 晃 《交替制》 —
泌尿器科	第二部長 玉置 雅弘 副部長 中嶋 正和 樋上 健介	第一部長 伊藤 哲之 副部長 中嶋 正和 藤原 裕士	—	第二部長 玉置 雅弘 山田 祐也 樋上 健介	第一部長 伊藤 哲之 山田 祐也 坂野 遼
腎臓内科	前沢 浩司 内川 宗大 —	部長 東 義人 高藤 光歩 —	大伴 裕美子 杉谷 盛太 岩重 洋平	部長 東 義人 前沢 浩司 市岡 光洋	杉谷 盛太 大森 翔平 —
皮膚科	原 知之	村岡 響子	《交替制》	大橋 理加	部長 辻岡 馨
整形外科	部長 百名 克文 副部長 玉置 康之 田中 慶尚	副部長 田中 康之 打越 顯 —	部長 百名 克文 奥津 弥一郎 —	副部長 玉置 康之 打越 顯 —	副部長 田中 康之 奥津 弥一郎 田中 慶尚
歯科口腔外科	—	清水 航治 —	副部長 平石 幸裕 清水 航治	清水 航治 池上 なつみ	副部長 平石 幸裕 池上 なつみ
放射線治療科	部長 根來 慶春 副部長 井口 治男	副部長 井口 治男 —	部長 根來 慶春 河村 晃	部長 根來 慶春 米山 正洋	副部長 井口 治男 米山 正洋
脳神経外科	部長 津浦 光晴	副部長 武本 英樹 —	《交替制》 —	部長 津浦 光晴 《脳血管内治療専門外来》	—
※ 麻酔科	副部長 吉村 聖子	副部長 吉村 聖子	—	—	副部長 片岩 真依子
呼吸器内科	第一部長 杉田 孝和 小西 聡史	副部長 堀川 禎夫	野口 進	第二部長 池上 達義	副部長 寺下 聡
心臓血管外科	名誉部長 小西 裕 部長 金光 尚樹	— —	部長 金光 尚樹 堀 裕貴	— —	— —
※ 脳神経内科	部長 山下 博史 成宮 悠爾 《交替制》	中西 悦郎 神辺 大輔 —	部長 山下 博史 大原 寛明 —	部長 山下 博史 三浦 聖史 —	中西 悦郎 《交替制》 —
※ 精神科	部長 東 睦広	—	—	部長 東 睦広	—
形成外科	澤良木 詠一 《小児形成外科専門外来》 部長 奥村 慶之	部長 奥村 慶之 —	高橋 夏子 —	— —	部長 奥村 慶之 —
呼吸器外科	—	部長 石川 将史	副部長 長 博之 《多汗症専門外来》 部長 石川 将史	— —	部長 石川 将史 —
※ 心療内科	—	—	副部長 今泉 澄人	—	副部長 今泉 澄人
※ リウマチ科	秋月 修治(第1・2・4) 土井 啓史(第2・4)	—	船越 壮平 石郷岡 望	—	東 直人
※ 漢方内科	—	—	部長 山田 伸	—	—
感染症内科	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》
神経救急部	—	—	—	部長 中 大輔	—
※ 緩和ケア内科	—	—	《交替制》	—	《交替制》

※ 完全予約制